

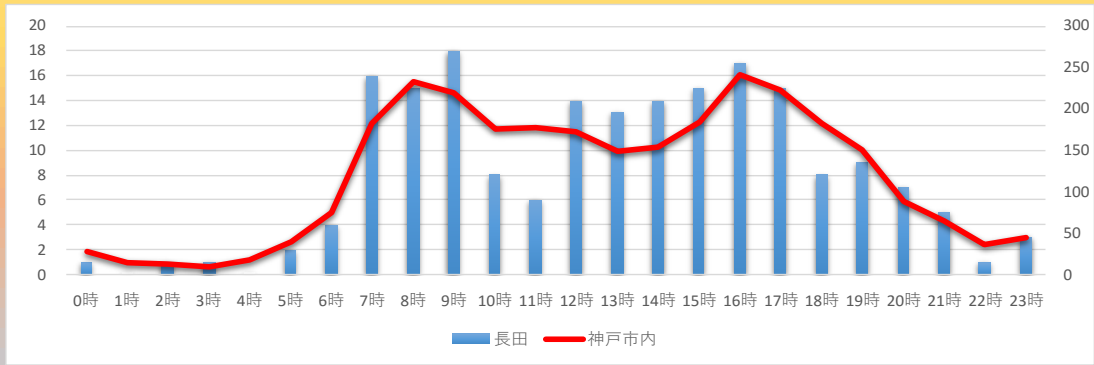
ながたの交通事故ミニ白書

(長田警察署・令和7年9月末)

○ 交通事故発生状況

年	区分			死者数	負傷者数		物件事故件数
	人身事故件数	自転車事故 (件数)	自転車事故 (構成率)			重傷者数	
令和7年9月末	193	72	37.3%	1	216	9	1,255
令和6年9月末	198	62	31.3%	0	223	14	1,239
前年同期比	-5	+10	+6.0%	+1	-7	-5	+16

○ 時間帯別発生状況

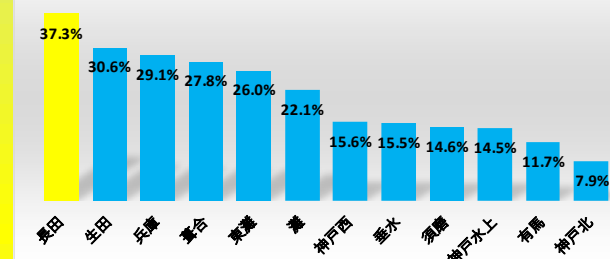


○ 関係事故件数

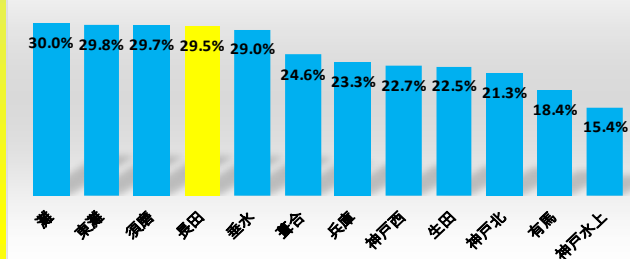
※構成率（人身事故に占める割合）の高い順番

区分	神戸市内		長田区				市内ワースト	
	件数(合計)	構成率(平均)	件数	構成率	前年同期比		R6	R7
二輪車	723	25.1%	57	29.5%	+0.2%		5	4
自転車	605	21.0%	72	37.3%	+6.0%		2	1
高齢者(65歳以上)	1,001	34.8%	81	42.0%	+5.6%		5	2

自転車関係事故占有率(R7.9)



二輪車関係事故占有率(R7.9)



○ 実践しよう横断歩道合図（アイズ）運動プラス

横断歩道合図（アイズ）運動

① 道路を横断する時は横断歩道のあるところを渡りましょう。

② 横断歩道を渡る場合、歩行者は接近して来る車のドライバーに合図を送りましょう。（手を挙げる動作とアイコンタクト）

③ ドライバーは歩行者に「渡ってください」の横断合図を送りましょう。（手を挙げる動作とアイコンタクト）

④ 歩行者は安全確認し、横断歩道を渡りましょう。ドライバーは、歩行者が通過するのを確認した後、発進しましょう。

横断歩道手前減速運動

ダイヤマークは「この先に横断歩道または自転車横断帯があること」を意味しています。このマークを見たらアクセルから足を離し、その先の横断歩道に歩行者等がいた場合に確実に停止できる準備をしましょう。

これ違反です

必ず一時停止

横断歩道等またはその手前の直前で停止している車等がある場合は一時停止しなければなりません。